

# 市政を問う！ 一般質問



門田 裕一 議員

## 本市における節水対策

問

食器洗い乾燥機の補助制度を新設してはどうか。

答 中村市長

節水効果は十分認識している。今後購入世帯も増加が見込まれる。節水対策には、さまざまな選択肢を設けることで、節水意識の高まりが考えられる。しかしながら、雨水貯留施設設置補助制度に着手したばかりで、今後更なる雨水の有効利用を促進し、節水意識の高揚を図っていきたい。食器洗浄機への補助については、今のところ考えていない。松山市でも既にやめて、

次の節水対策に移っている。

## 「互換オフィスソフト」導入で経費削減を

問

市職員用のパソコンへの導入を図ってはどうか。

答 総務部長

互換オフィスソフトは、マイクロソフトオフィスと同じ機能を持ちながら、無料または安価な価格で購入できるため、四国中央市を初め松山市においても、小・中学校に設置するパソコンに導入し、大

幅な経費削減を図っているようである。

現在、本市で使用のパソコンは、約500台すべてにマイクロソフトオフィスが使用されている。

仮に500台のパソコンを一斉に更新し、無料の互換オフィスソフトを導入すれば、1000万円単位の経費が削減できると思われる。

しかし、ワープロソフトや表計算ソフトなどで特定の操作手順をプログラムして自動化した、いわゆるマクロを含むファイルが作動しない懸念もあり、国や他の地方公共団体との電子データによるやりとりを行う場合、支障をきたす可能性がある。

現在、市が導入の行政評価システムは、マクロを使用しているため、不具合が生じる可能性がある。今後パソコンの更新時期までにいくつかの互換オフィスソフトを検証し、導入を検討したい。

## WEB（ウェブ）図書館の創設を

問

①本市の図書館の利用状況

②図書館を建設することだが、なぜ建設するのか。どのような理念をもっているか。

③WEB（ウェブ）図書館の創設を検討してはどうか。

答 教育委員会 事務局長

①蔵書数は約8万冊で、昨年度の貸出冊数は約5万6000冊、利用者数は約2万6000人である。前年度に導入した図書館システムにより、蔵書のデータ管理が容易となったことから、インターネットからの検索や一部予約など利用は増加傾向である。

②最大の建設理由は建物の老朽化である。築30年が経過し、雨漏りや壁面の剥離があり、大規模改修が必要となっている。加えて旧耐震基準の建物であることから、耐震補強工事が必要となっており、新築するのが得策である。

理念は、安全であり快適であること、入館しやすく親しみやすいこと、サービスの変化に対応できる長寿命型であること、図書館職員が使いやすく働きやすいことが挙げられる。

③先進事例として千代田区立



築30年が経過した図書館

千代田図書館を挙げていた。大変すばらしいサービスであるが、実際の運営面では、まだまだ実験的な段階のようである。引き続き情報の収集に当たり、モデルとして研究対象にしたい。

今後法整備や社会実験が実施されることも予想されるが、現段階では、WEB図書館の創設は考えていない。

## その他の質問事項

- ・ 家族経営協定の普及促進
- ・ 木のいえ整備促進事業の推進と取組
- ・ メモリアルベンチ寄附募集制度の創設を